

## 第2章

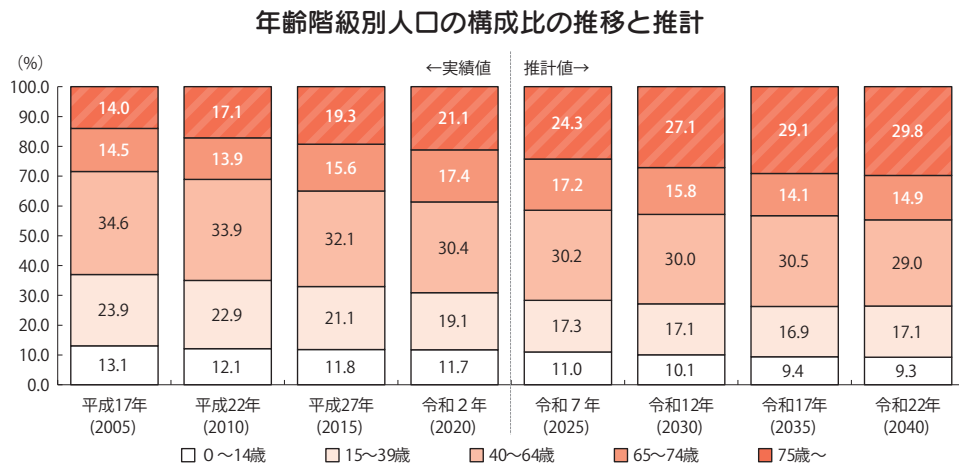
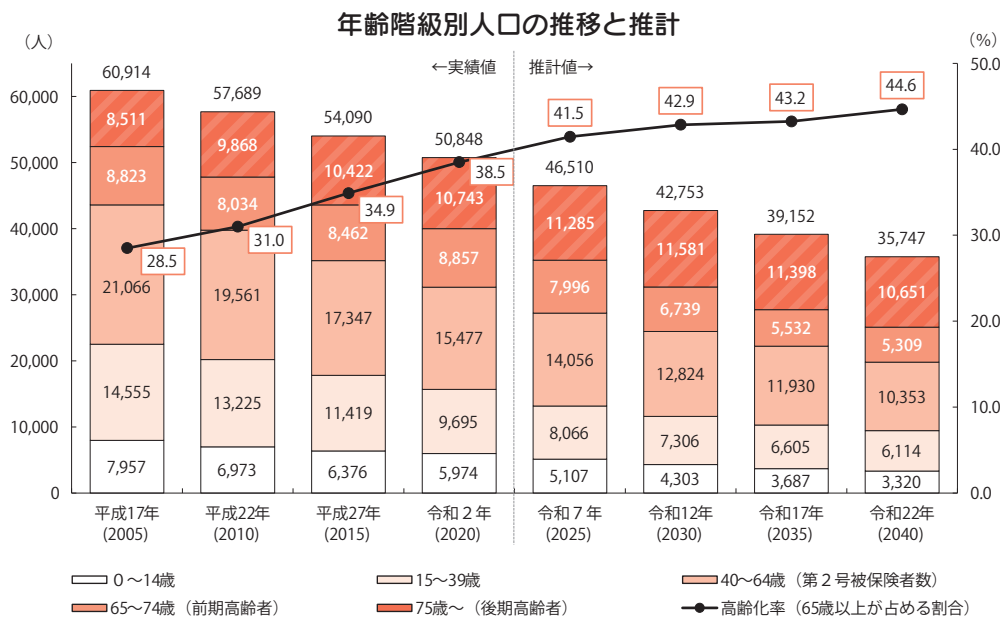
# 日南市の高齢者を取り巻く現状

## 1 人口・世帯等の状況

### (1) 総人口の推移

本市の総人口は、減少傾向にあり、令和7（2025）年以降も減少が続く推計となっています。  
 年齢階級別にみると、0～64歳人口は減少が続いているのに対し、65歳以上（高齢者）人口は令和2（2020）年まで増加が続いています。

高齢化率は、上昇が続いており、令和7（2025）年には40%を超える推計となっています。



※ 各年の%の合計値は、小数点第2位の四捨五入により100%にならない場合あり

資料：実績値（令和2年まで）は、総務省「国勢調査」

推計値（令和7年以降）は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」

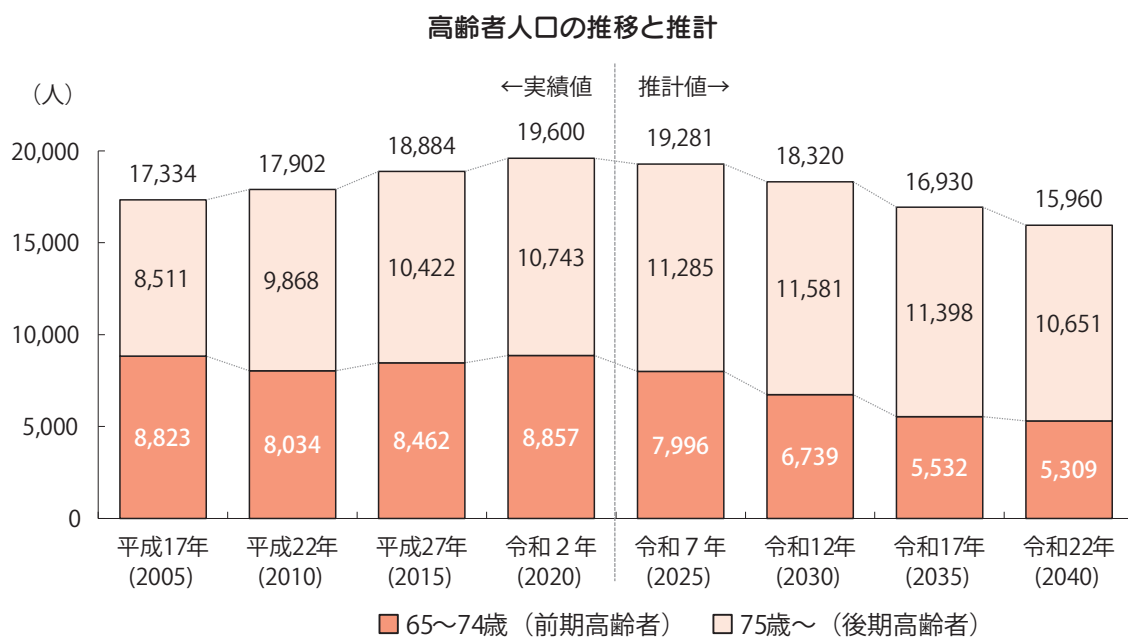


## (2) 高齢者人口と高齢化率の推移

本市の高齢者人口は、令和3（2021）年にピークを迎え、その後、減少に転じています。

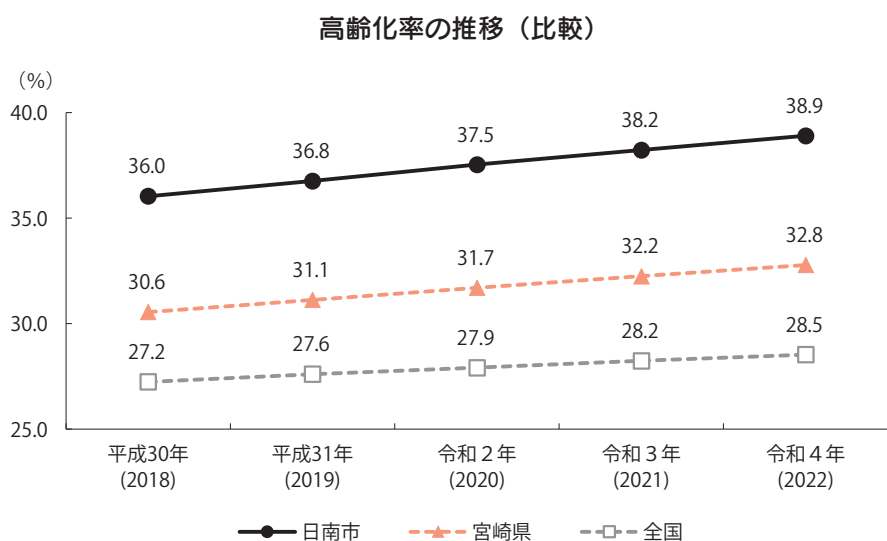
高齢者人口の内訳をみると、65～74歳（前期高齢者）は、令和4（2022）年以降、減少していますが、75歳以上（後期高齢者）は、令和12（2030）年頃まで増加が続く見込みとなっており、今後、後期高齢者の割合の上昇が予測されます。

本市の高齢化率は、宮崎県と全国の値を上回って推移し、上昇が続いています。



資料：実績値（令和2年まで）は、総務省「国勢調査」

推計値（令和7年以降）は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」



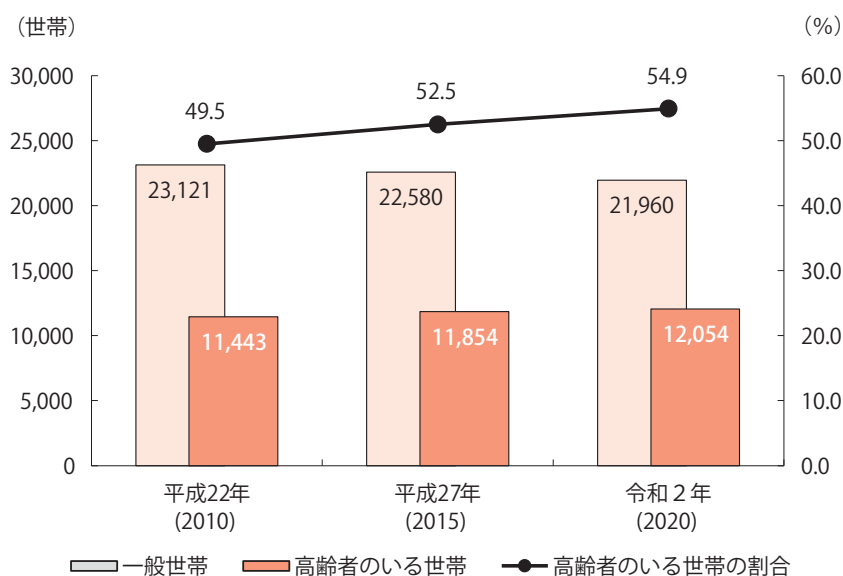
資料：住民基本台帳（各年1月1日現在）

### (3) 高齢者のいる世帯の状況

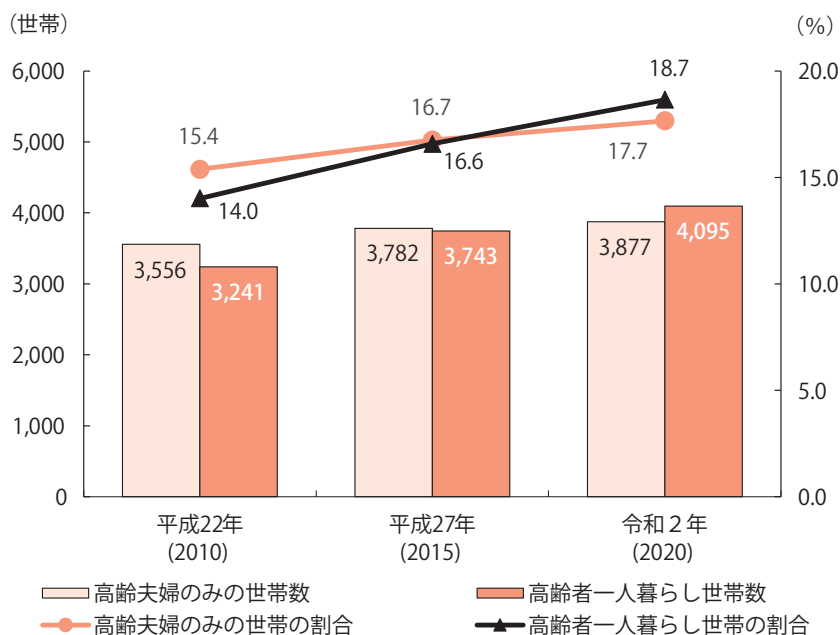
本市の一般世帯数は減少が続いていますが、高齢者（65歳以上）のいる世帯数は増加が続いており、令和2（2020）年は、一般世帯数に対し、高齢者のいる世帯数は54.9%を占めています。

高齢夫婦のみの世帯数及び高齢者一人暮らし世帯数の推移をみると、ともに増加が続いていますが、令和2（2020）年は、高齢者一人暮らし世帯数（18.7%）が、高齢夫婦のみの世帯数（17.7%）を上回り、合計すると一般世帯数の36.4%（3分の1以上）を占めています。

高齢者のいる世帯数、一般世帯数に占める割合の推移



高齢夫婦のみの世帯数、高齢者一人暮らし世帯数と一般世帯数に占める割合の推移



※高齢夫婦のみの世帯：夫が65歳以上、妻が60歳以上の世帯

※高齢者一人暮らし世帯：世帯主が65歳以上の単身世帯

資料：総務省「国勢調査」

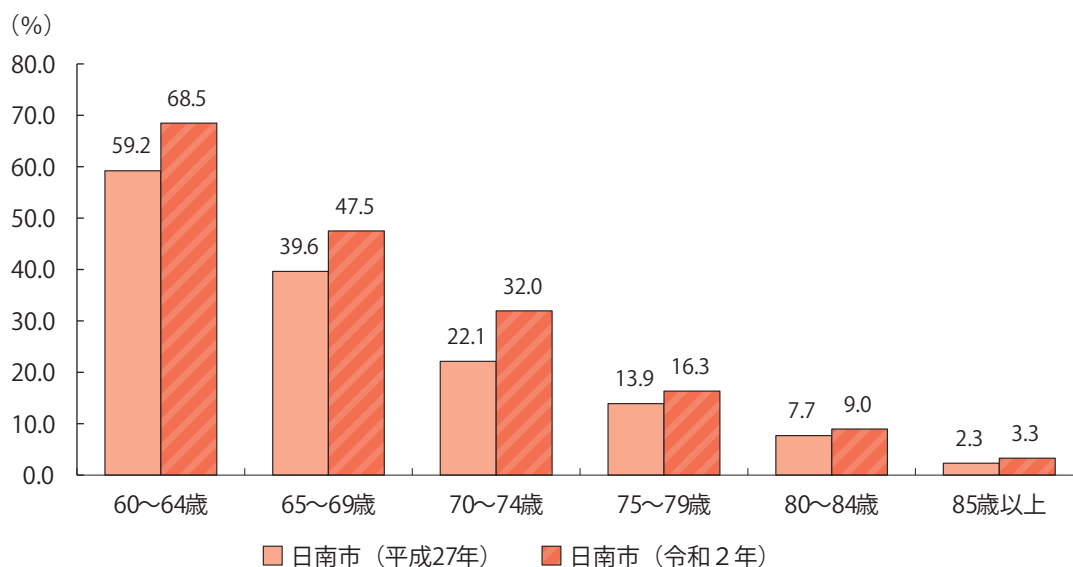


#### (4) 高齢者の就労状況

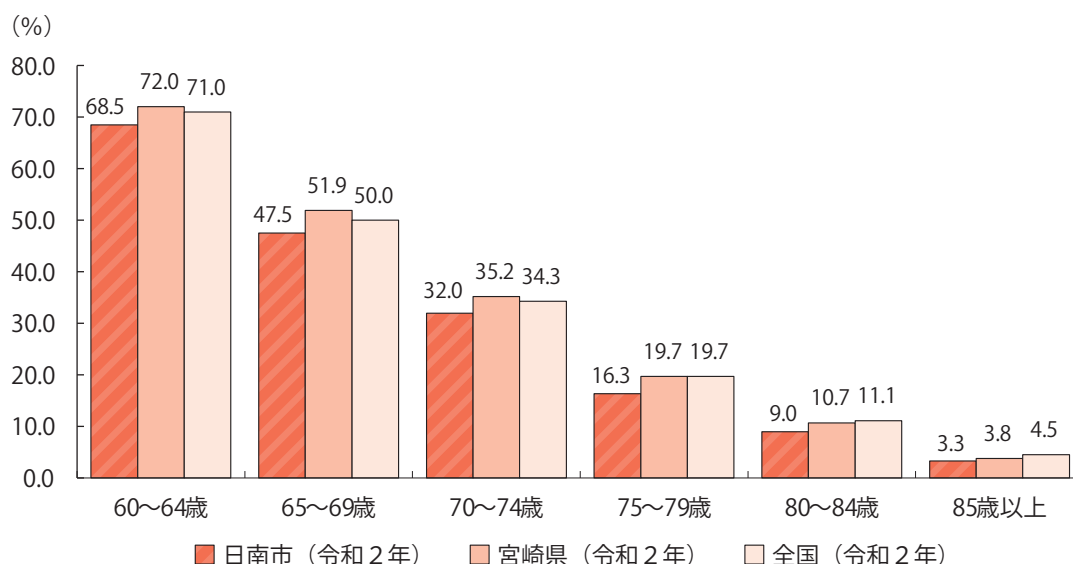
年齢階級別就業率の年度別の比較をみると、本市の令和2（2020）年の就業率は、いずれの年齢層においても、平成27（2015）年の就業率よりも上昇しています。

また、宮崎県や全国の値と比較すると、令和2（2020）年の本市の就業率は、いずれの年齢層においても低くなっています。

年齢階級別就業率の比較（年度別）



年齢階級別就業率の比較（宮崎県、全国）



※就業率は5歳階級別人口に対する就業者の割合で、労働力状態「不詳」を除きます。

資料：総務省「国勢調査」

## 2

## 介護保険事業の状況

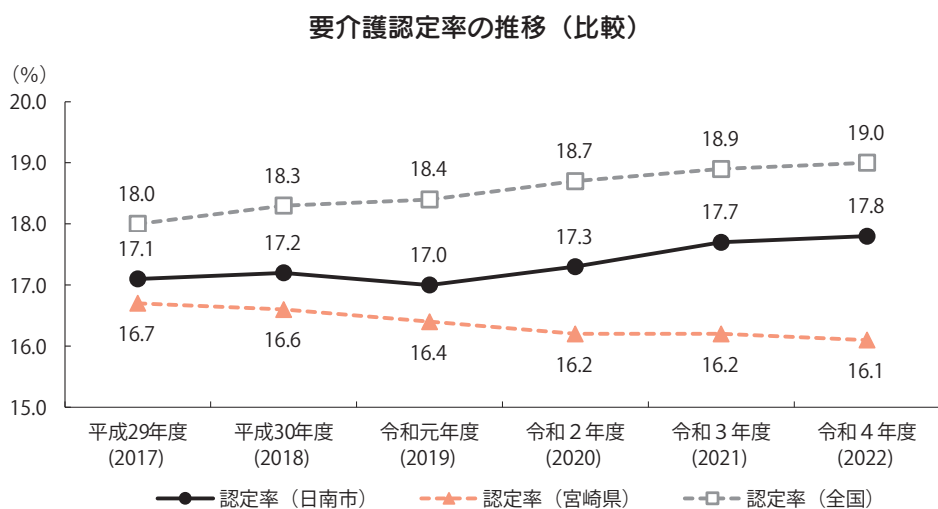
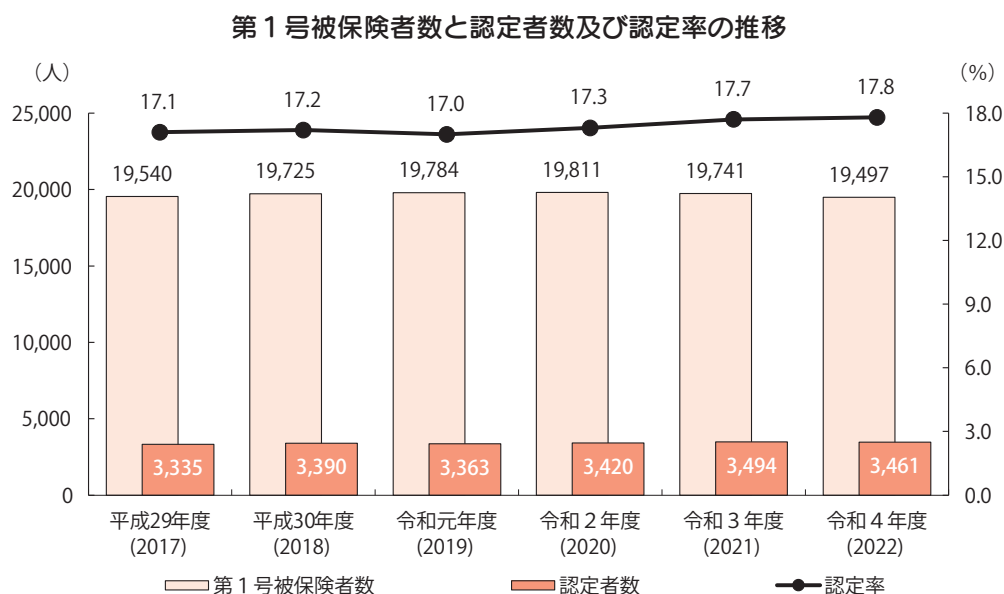
### (1) 第1号被保険者数と認定者数及び認定率の推移

本市の第1号被保険者数は、令和2（2020）年度まで微増傾向にありましたが、令和3（2021）年度以降、減少に転じています。

要支援・要介護認定者数（第1号被保険者）は、平成29（2017）年度以降、微増傾向となっています。

要介護認定率（第1号被保険者）は、上昇傾向にあり、平成29（2017）年度の17.1%から、令和4（2022）年度には17.8%に推移しています。

また、本市の要介護認定率は、宮崎県の値を上回り、全国の値を下回って推移しています。



※要介護認定率は、第1号被保険者の要支援・要介護者数を第1号被保険者数で除して算出しています。

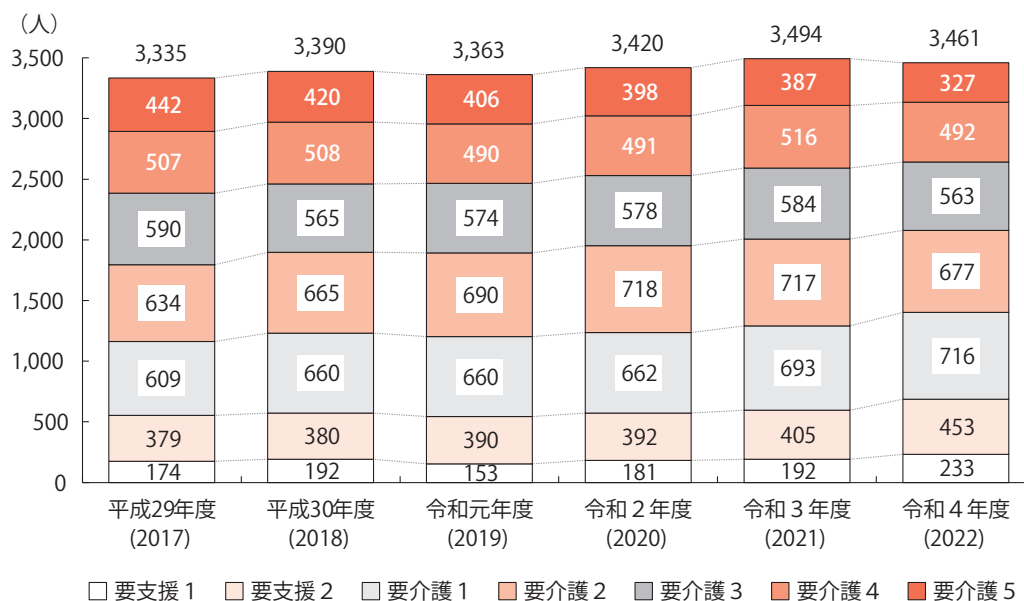
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 年報」（令和2年度まで）  
「介護保険事業状況報告 3月月報」（令和3年度以降）



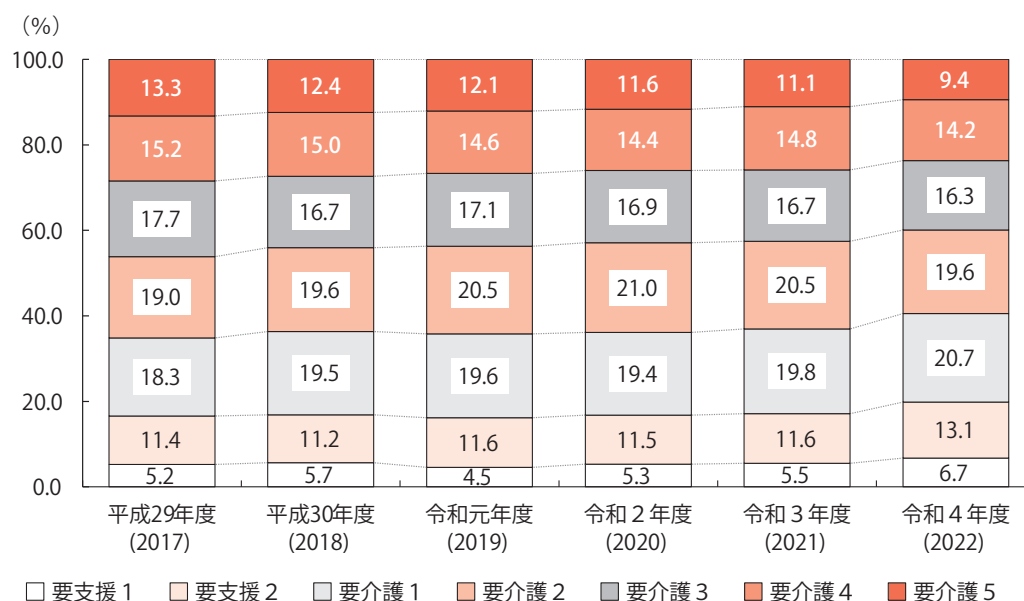
## (2) 要支援・要介護認定者の状況

本市の要支援・要介護認定者数（第1号被保険者）は、緩やかな増加傾向となっています。  
要介護度別構成比をみると、「要支援1・2、要介護1」の割合は上昇傾向にある一方、「要介護3～5」の割合は下降傾向となっています。

要介護度別にみた要支援・要介護認定者数の推移



要介護度別構成比の推移



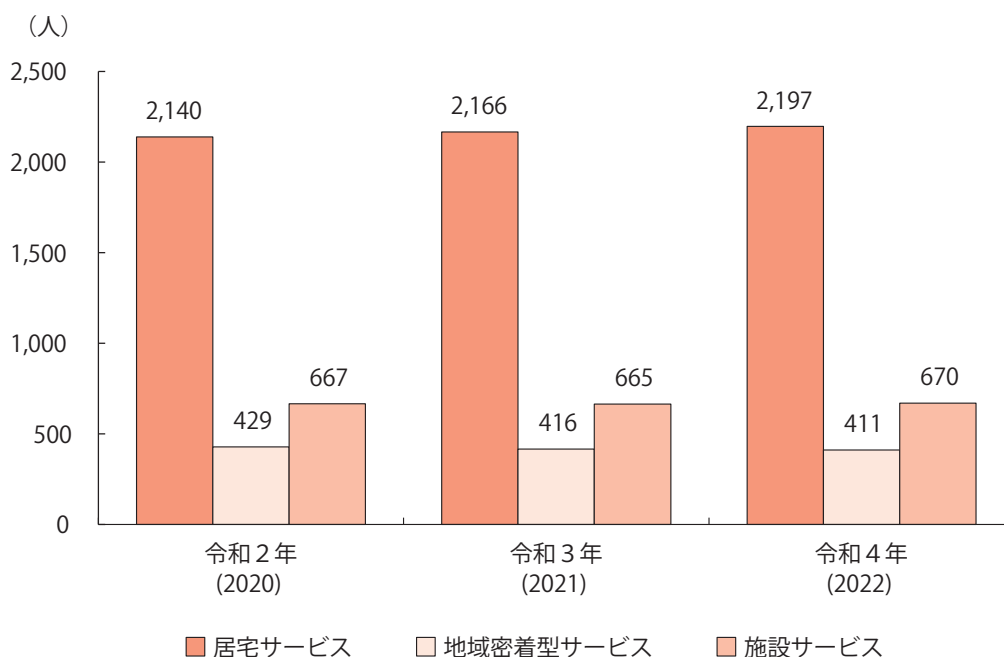
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 年報」（令和2年度まで）  
「介護保険事業状況報告 3月月報」（令和3年度以降）

### (3) 介護サービス受給者の状況

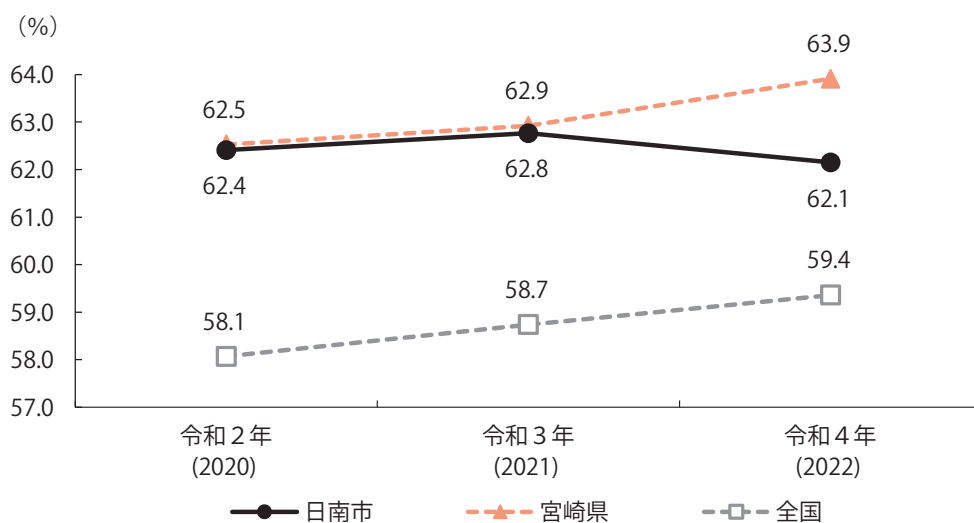
本市の介護サービス受給者数の推移をみると、居宅サービス受給者数は緩やかな増加傾向、地域密着型サービス受給者数は緩やかな減少傾向、施設サービス受給者数は横ばいで推移しています。

サービス別の利用率をみると、居宅サービス利用率、施設サービス利用率は、全国の値を上回って推移している一方、地域密着型サービス利用率は全国の値を下回って推移しています。

介護サービス受給者数の推移



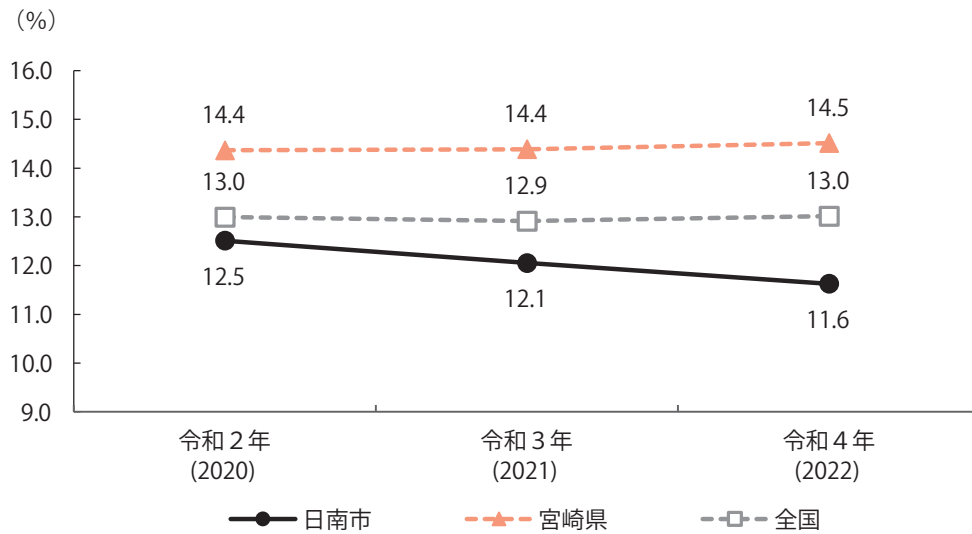
居宅サービス利用率の推移



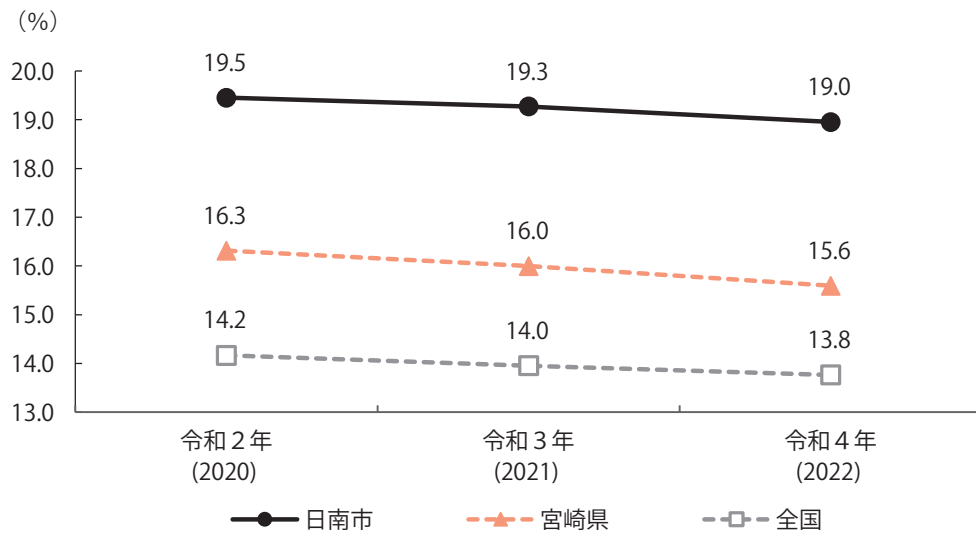
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報」（各年9月末現在）



地域密着型サービス利用率の推移



施設サービス利用率の推移



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 月報」（各年9月末現在）

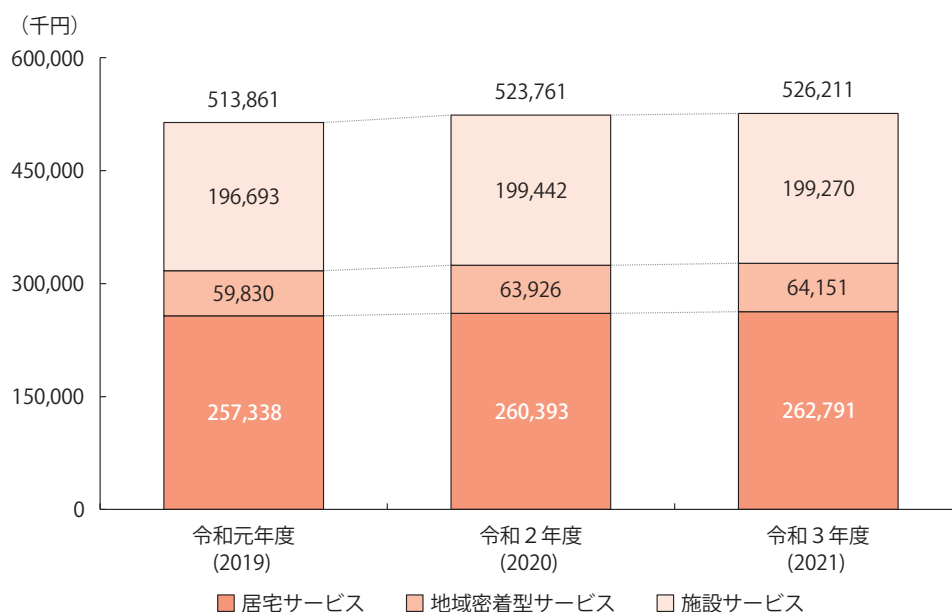
## (4) 介護費用額の状況

本市の介護費用額（月額）は、緩やかな増加傾向となっています。

介護サービス別にみると、居宅サービスが約 5 割、施設サービスが約 4 割、地域密着型サービスが約 1 割を占めて推移しています。

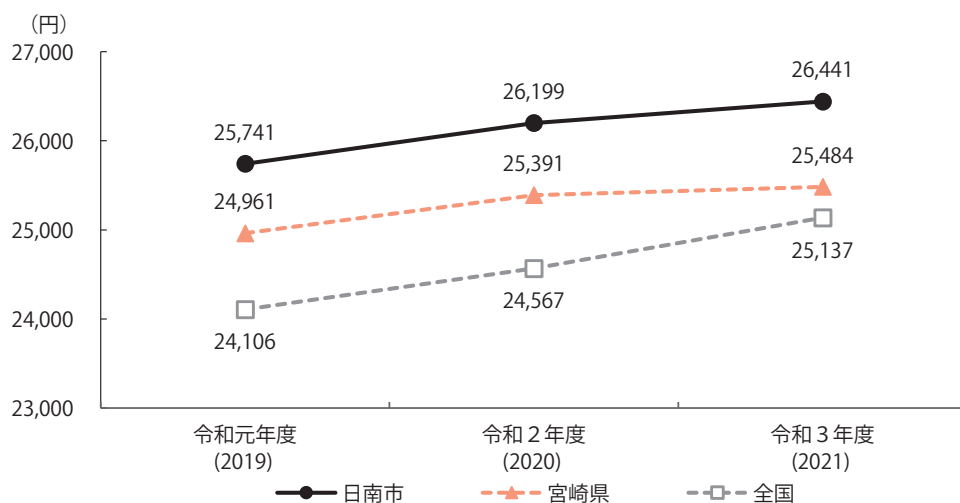
第 1 号被保険者 1 人 1 月あたり費用額は、増加傾向となっており、宮崎県と全国の平均額を上回って推移しています。

介護費用額（月額）の推移



※介護費用（月額）は、年度実績を12で除して算出しています。

第 1 号被保険者 1 人 1 月あたり費用額の推移（比較）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告 年報」